

# 日本聖公会 管区事務所だより

日本聖公会管区事務所  
162-0805 東京都新宿区矢来町65  
電話 03(5228)3171 FAX 03(5228)3175  
発行者 総主事 司祭 三鍋 裕

## 遠藤 哲 主教の逝去を悼む

管区事務所総主事 司祭 ローレンス 三鍋 裕

横浜教区の遠藤哲主教が3月6日に逝去されました。横浜教区の一員として、遠藤主教のためにお祈りくださった日本聖公会の皆様にご礼申し上げます。また、ご多用中にもかかわらず全教区主教様が葬儀にご参列くださったことにも厚く御礼申し上げます。同時に横浜教区の一員として、ご病気の主教を最後まで支え、その主教職を全うさせ、お見送りした教区常置委員と総務主事に感謝します。さらに、お悲しみの中にありながら逆に私どもを励ましてくださったご遺族に感謝申し上げます。勿論、遠藤主教ご自身にも横浜教区は深く感謝申し上げます。感謝に囲まれて逝かれました。

頑固な主教でありました。寿命5年と言われる病気を持ちながら9年間頑張り続け、病院から外泊しての最後の主教巡回は逝去10日前、横浜から一番遠い浜松でした。葬送式での森主教のお言葉どおり「定年まで3年を残したけれども、主教職を全うするという事は時間の長さではなく質の問題」であり、見事に全うされたと言えます。

女性司祭の問題には頑固なまでに慎重でした。しかし違う意見を持つ人にも耳を傾け、相手の意見を封じようなどはせず、決して優しさを失わない人でした。長年にわたり少年院の篤志面接員として更生中の少年の話に耳を傾けられたのも、優しさがなければ務まらない奉仕でした。神奈川県宗教連盟の役員を続けられたのも、違う立場の方々にも敬意を持ち学び合う優しさがあつたればこそのことだったでしょう。葬儀にも他宗教の方々のお姿がありました。

意見が違つたと「困つたなあ、どうしたら分かってもらえるのだろう」と、本当に困つたお顔をしておられました。頑固ですから簡単に譲るということはありませんが、相手を全部否定することはありませんでした。忘れっぽさにかけては昔誰々今遠藤といわれるくらいでしたし、優柔不断といわれることもありましたが。しかし否定的な言葉である優柔不断を遠藤主教に当てはめるとき、「誰にも優しく柔らかく、誰をも断らない」という響き

## 会議・プログラム等予定

(前回報告以降追加  
および3月25日以降)

### 3月

- 5日(水) 聖公会-ローマカトリック教会合同委員会
- 11日(火) 主事会議(3/25に延期)
- 24日(月) 渉外主査会
- 24日(月)~25日(火) 文書保管委員会
- 25日(火) 主事会議
- 25日(火) 教役者遺児教育基金・建築金融資金運営委員会
- 27日(木) 財政主査会

### 4月

- 1日(火) 総会書記局会議
- 2日(水)~4日(金) 新任研修会(狭山)
- 7日(月)~8日(火) 日韓聖公会合同協議会
- 8日(火) 主事会議
- 8日(火) 正義と平和・憲法プロジェクト
- 8日(火) 収益事業委員会
- 10日(木) 宣教150年記念礼拝実行委員会
- 11日(金) 会計監査
- 16日(水) 常議員会
- 21日(月)~22日(火) 文書保管委員会
- 22日(火)~24日(木) 人権担当者協議会(草津)

### 5月

- 11日(日) 聖公会/ルーテル教会合同礼拝(東京、聖アンデレ教会)
- 12日(月)~13日(火) 文書保管委員会
- 27日(火)~29日(木) 第57(定期)総会

<関係諸団体会議等>

### 4月

- 10日(木) 同宗連總會(京都)

になるのです。

教会と社会問題のかかわりに否定的であったわけではありません。ただ、その教会の大切な働きのために常に祈りを大切に、その良き働きを発展させ継承する聖職信徒、特に青少年の育成に、より心を注いでおられたのも事実です。

お許しいたदैて私自身の思い出を一つ。6年前、主教になられて6日目にお電話がありました。「ちょっとお話があるので訪ねたいのですが...」、「6日目で、もう人事ですか」とカマをかけると、正直な方ですから電話の向こうで絶句しておられるのが分かりました。勿論、主教にお運びいただくのは恐縮ですから、私が横浜に参りましたが、やはり人事でした。それも管区総主事にとのこと、即座に固辞しました。無理強いをなさらない方なので困り果ててしまわれ、お受けせざるを得ませんでした。後日、「こんなに大変な仕事とは知らずに、無理を言ってしまうて済みませんでした」と謝られたのには、負けました。私もこんなに大変な仕事とは知りませんでした。逝去の前日に、主治医がご家族に話されたそうです。「この方は私に、また看護師一同に優しいです」と。

自分の所属教区の主教の追悼文というだけではありません。遠藤主教という方を思いなが

ら聖公会を思っているのです。敬愛してやまない方ではありましたが、完全ではなかったでしょう。しかし頑固なまでにご自分の考えを持ちながら、優しく相手を尊敬し耳を傾けるお姿に聖公会を感じるのです。価値観が多様化する中で、ともすれば自分の主張で相手を押しつづうとすることがあるように思えるのです。良い意味での優柔不断、聖公会らしい余裕がなくなってしまったのでしょうか。巨星ではなかったかもしれませんが、小さくても輝く聖公会の星であられたと思うのです。

延命治療辞退の文書に署名しておられたのですから、最後まで大斎の祈りを捧げつつご復活を待ち望んでおられたに違いありません。私たちが例年以上に深い思いで祝う復活祭です。一人の聖公会らしい主教を通して多くのお恵みをお与えくださった神さまに感謝と賛美をお捧げします。ハレルヤ。

今私たちは、眠りに就いた兄弟のゆえに主をほめたたえます。どうかパラダイスおよびこの世にある主の全公会をみ光で照らし、天よりの慰めをお与えください。私たちを憐れみ、よい模範を残した僕らの跡を踏み、主を愛し主に仕え、ついに彼らとともに永遠の喜びに至らせてください。主イエス・キリストによって。アーメン

### 主事会議

第56(定期)総会期第18回 3月25日(火)  
次回以降の会議  
4月8日(火)

### 各教区

#### 東北

- ・盛岡聖公会 宣教100周年記念礼拝・祝賀会 2008年5月10日(土) 記念礼拝:10時 盛岡聖公会 祝賀会:12時半 ホテル東日本 会費3000円

#### 横浜

- ・第67(臨時)教区会 5月3日(土)9時半

横浜聖アンデレ主教座聖堂 横浜教区主教選挙のため

#### 中部

- ・中越地震被災者支援プロジェクト第2次 オープンスペース 春が来た!! 感謝の集い (活動を終了するにあたって) 2008年3月29日(土)11時~14時 会場:山古志虫龜多目的集会施設 内容:活動報告、会食、懇親会 3月30日(日)長岡聖ルカ教会主日礼拝にて感謝礼拝

#### 大阪

- ・第99(臨時)教区会 3月30日(日)14時主

教座聖堂(川口基督教会) 議題:2007年度  
教区一般会計決算ほか

ジョージ林 正樹(大阪)、リチャード池澤隆  
輝(神戸)

### 関係諸施設

† 逝去者 靈魂のパラダイスにおける光明と平安  
を  
祈ります。

### 聖公会生野センター

- ・新拠点祝別式 3月22日(土)14時 於・聖  
公会生野センター新拠点 544-0002 大阪  
市生野区小路3丁目11番19号

マーガレット濱野タキ修女(神愛修女会靈  
母)2008年3月3日逝去(80歳)

### 神学校

遠藤英子(旧姓木村、東京教区・元婦人伝  
道師)2008年3月4日逝去(92歳)

### 聖公会神学院

- ・広谷和文司祭校長就任式ならびに2008年  
度入学式 4月7日(月)14時 聖公会神学  
院諸聖徒禮拜堂 新入生:エリザベト工藤  
マナ(北海道)、アタナシウス(佐々木康一  
郎(東北)、イリナ佐藤文香(東北)、ルカ  
平岡康弘(北関東)、ペテロ吉田尚史(東  
京)、パウロ眞野玄範(横浜)、ヨセフ石田  
雅嗣(中部)、クリストファー奥村貴充(大  
阪)、ヨハネ古澤秀利(大阪)

主教 ヤコブ遠藤 哲(横浜教区主教)200  
8年3月6日逝去(67歳) 葬送告別式:3  
月11日(火)横浜教区主教座聖堂横浜聖  
アンデレ教会

### ウイリアムス神学館

- ・2008年度入学式 4月9日(水)11時 京  
都教区主教座聖堂(聖アグネス教会)入学  
者:パウロ内海信武(北海道)、ヤコブ岩田  
光正(京都)、ジョイ千松清美(大阪)、

### 公 示

2008年2月28日

日本聖公会法規第10条に基づき2008年4  
月1日付、主教 アンデレ中村 豊(日本聖公  
会神戸教区主教)に大阪教区の管理主教を  
委嘱します。

日本聖公会首座主教  
ナタナエル 植松 誠

## 《人 事》

### 北海道

司祭 アルハン阿部芳克	2008年4月1日付	室蘭聖マタイ教会協働司祭に任ずる
聖職候補生 ヨハネ池田 亨	2008年4月1日付	司祭大友正幸管理のもと、札幌キリスト教会 勤務を命ずる
司祭 アキラ上原仁志	2008年3月31日付 2008年4月1日付	定年により退職とする 教区主教管理のもと、平取聖公会及び新冠 聖フランシス教会囑託司祭、及びバチラー保 育園チャプレンを委嘱する(任期1年)
主教 ナタナエル植松 誠	2008年3月31日付 2008年4月1日付	小樽聖公会管理牧師の任を解く 平取聖公会及び新冠聖フランシス教会管理 牧師に任ずる。
司祭 ペテロ大町信也	2008年4月1日付	小樽聖公会管理牧師に任ずる

司祭 ヘレン木村夕子	2008年3月31日付	札幌聖ミカエル教会副牧師、岩見沢聖十字教会及び美唄聖アンデレ教会協働司祭、また聖ミカエル幼稚園チャプレン補の任を解く
	2008年4月1日付	旭川聖マルコ教会牧師及び稚内聖公会管理牧師に、また旭川頌栄保育園チャプレンに任ずる
司祭 コルベ下沢 昌	2008年3月31日付	函館聖ヨハネ教会牧師及び今金インマヌエル教会管理牧師の任を解く
	2008年4月1日付	釧路聖パウロ教会及び厚岸聖オーガスチン教会牧師に任ずる
司祭 パウロ寺本睦男(退)	2008年4月1日付	司祭松井新世管理のもと、帯広聖公会囑託司祭を委嘱する(任期1年)
司祭 ヤコブ福島忠男(退)	2008年4月1日付	司祭大町信也管理のもと、小樽聖公会囑託司祭を委嘱する(任期1年)
司祭 ダビデ藤井八郎	2008年3月31日付	旭川聖マルコ教会牧師及び稚内聖公会管理牧師の任を解く
	2008年4月1日付	函館聖ヨハネ教会牧師及び今金インマヌエル教会管理牧師に任ずる
執事 ヨハネ細矢勝司(退)	2008年4月1日付	司祭松井新世管理のもと、帯広聖公会囑託執事を委嘱する(任期1年)
執事 ヨハネ横山明光	2008年3月31日付	札幌キリスト教会牧師補の任を解く
	2008年4月1日付	札幌聖ミカエル教会牧師補に任ずる
聖職候補生 サムエル吉野暁生	2008年4月1日付	司祭大友正幸管理のもと、岩見沢聖十字教会及び美唄聖アンデレ教会勤務を命ずる
司祭 ジョシュア李 香男(リ・ヒャンナム) (大韓聖公会テジョン教区)	2008年4月1日付	札幌聖ミカエル教会副牧師に、また岩見沢聖十字教会及び美唄聖アンデレ教会協働司祭に、また聖ミカエル幼稚園チャプレン補に任ずる。

### 東北

主教 ヨハネ加藤博道	2008年3月31日付	秋田聖救主教会管理牧師の任を解く。
	2008年4月1日付	若松諸聖徒教会管理牧師に任命する。
司祭 ヤコブ八戸 功	2008年3月31日付	八戸聖ルカ教会管理牧師の任を解く。秋田聖救主教会協働の任を解く。
	2008年4月1日付	秋田聖救主教会管理牧師に任命する。
司祭 フランシス中山 茂	2008年3月31日付	八戸聖ルカ教会協働の任を解く。
	2008年4月1日付	秋田聖救主教会協働を命じる。
宣教協働者・聖職候補生 ジョン・ストーゼンバック(東京教区)	2008年3月31日付	八戸聖ルカ教会勤務を解く。
	2008年4月1日付	司祭ステパノ涌井康福のもとで、福島聖ステ

		パノ教会勤務(居住)および仙台圏宣教協働を委嘱する。
主教 ウイリアム村上達夫(退)	2008年4月1日付	若松諸聖徒教会特別協力(若松聖愛幼稚園名誉チャプレン)を委嘱する。(任期1年)
司祭 アンデレ宇田正行	2008年3月31日付	主教座聖堂付を解く。 願いにより、九州教区への移籍を許可する。
<信徒奉事者認可> 2008年2月18日付		
(福島聖ステパノ教会)エリザベス鹿又澄子、マリヤ西間木美恵子、アグネス今泉容子、 マーガレット塚原久美子、ペテロ岡田和人		
北関東		
司祭 エレミヤ・パウロ木村直樹	2008年3月31日付	榛名聖公会教会牧師および高崎聖オーガストン教会牧師の任を解く。
	2008年4月1日付	大宮聖愛教会牧師および幸手基督教会管理牧師に任命する。
司祭 ヨハネ大橋邦一	2008年3月31日付	立教学院出向の任を解く。
	2008年4月1日付	川越基督教会牧師に任命する。
司祭 パウロ鈴木伸明	2008年3月31日付	大宮聖愛教会牧師および幸手基督教会牧師の任を解く。
	2008年4月1日付	立教学院に出向を命ずる。
司祭 ヨハネ小野寺達	2008年3月31日付	前橋聖マッテア教会牧師および新町聖マルコ教会牧師の任を解く。
	2008年4月1日付	宇都宮聖ヨハネ教会牧師および日光真光教会管理牧師に任命する。
司祭 フランシス秋葉晴彦	2008年3月31日付	聖公会神学院出向の1年間延長を命ずる。 下館聖公会管理牧師の任を解く。
	2008年4月1日付	榛名聖公会教会協働司祭に任命する。
司祭 マタイ金山昭夫	2008年3月31日付	宇都宮聖ヨハネ教会副牧師および日光真光教会副牧師の任を解く。
	2008年4月1日付	前橋聖マッテア教会牧師および新町聖マルコ教会管理牧師に任命する。榛名聖公会教会協力を命ずる。
司祭 パウロ矢萩栄司	2008年4月1日付	東北教区からの転籍を認め、下館聖公会牧師および小山聖ミカエル教会協働司祭に任命する。
司祭 パウロ藤井文宏	2008年3月31日付	川越基督教会管理牧師の任を解く。
	2008年4月1日付	高崎聖オーガストン教会管理牧師に任命する。
執事 バルナバ岸本 望	2008年3月31日付	小山聖ミカエル教会牧師補の任を解く。
	2008年4月1日付	栃木聖アルバン教会牧師補に任命する。
聖職候補生 ダビデ斎藤 徹	2008年4月1日付	榛名聖公会教会勤務を命ずる。

主教 ゼルバベル広田勝一	2008年4月1日付	榛名聖公会管理牧師に任命する。
東京		
司祭 ジェームス須賀義和	2008年1月26日付	東京聖三一教会牧師補解任。東京聖十字教会副牧師任命
執事 マツテヤ大森明彦	2008年1月26日付	八王子復活教会牧師補任命
<信徒奉事者認可及び分餐奉仕許可>2008年2月12日付 (聖オルバン教会) マーネ・ヴィクトリア・スミス(2008年3月31日まで)		
横浜		
司祭 トマス池原貞雄	2008年3月31日付	甲府聖オーガスチン教会牧師の任を解く。定年により退職とする。
執事 ジェローム村上守旦	2008年3月31日付 2008年4月1日付	柏聖アンデレ教会牧師補の任を解く。浦安伝道所牧師補に任命する。
司祭 オーガスチン松村 誠	2008年3月31日付 2008年4月1日付	長坂聖マリヤ教会牧師の任を解く。甲府聖オーガスチン教会牧師に任命する。
司祭 ルカ武藤謙一	2008年4月1日付	長坂聖マリヤ教会管理牧師に任命する。
執事 パウロ友寄景方	2008年3月31日付 2008年4月1日付	横浜聖アンデレ教会牧師補ならびに教務所書記の任を解く。長坂聖マリヤ教会牧師補に任命する。
聖職候補生 ペテロ松田 浩	2008年3月31日付 2008年4月1日付	市川聖マリヤ教会牧師及び浦安伝道所管理牧師司祭ヤコブ三原一男のもとでの勤務を解く。柏聖アンデレ教会管理牧師司祭アンデレ橋本克也のもとで勤務することを命じる。
パウロ眞野玄範	2008年4月1日付	日本聖公会聖職候補生に認可する。
<信徒奉事者認可> 2008年3月1日付 (千葉復活教会)ペテロ永井直行		
京都		
<信徒奉事者認可> 2008年3月1日付 (聖アグネス教会)マイケル・パイ		
大阪		
司祭 施洗者ヨハネ山本 眞	2008年4月1日付	大阪聖アンデレ教会牧師および桃山学院出向の任を解き、芦屋聖マルコ教会牧師に任命する。
司祭 ペテロ竹林徑一	2008年4月1日付	聖贖主教会牧師、社会福祉法人博愛社チャプレンおよび庄内基督教会管理牧師の任を解き、大阪聖アンデレ教会牧師に任命し、桃山学院への出向を命じる。
司祭 ヨハネ木村幸夫	2008年4月1日付	復職を許可し、主教座聖堂付きの勤務を命じる。
司祭 ヨハネ藤江幸雄	2008年4月1日付	川口基督教会副牧師の任を解き、主教座聖

		堂付きの勤務を命じる。
司祭 テモテ内田 望	2008年4月1日付	大阪聖ヨハネ教会管理牧師に任命する。
司祭 ヨハネ成田邦雄	2008年4月1日付	聖贖主教会管理牧師に任命する。
司祭 ヨハネ奥 康功	2008年4月1日付	芦屋聖マルコ教会管理牧師の任を解き、尼崎聖ステパノ教会管理牧師に任命する。
司祭 ウィリアムス竹内信義	2008年4月1日付	庄内キリスト教会管理牧師に任命する。
司祭 サムエル福田光宏	2008年4月1日付	大阪聖愛教会管理牧師に任命する。
司祭 ペテロ岩城 聡	2008年4月1日付	聖ルシヤ教会管理牧師に任命する。
司祭 ペテロ齊藤 壹	2008年4月1日付	聖バルナバ病院チャプレンに任命する。
司祭 モーセ任 大彬	2008年4月1日付	大阪聖愛教会の任を解き、休職を許可する。
主教 ヤコブ宇野 徹	2008年4月1日付	定年により退職とする。
司祭 ペテロ松山龍二(退)	2008年4月1日付	司祭ペテロ齊藤壹のもとで、聖ガブリエル教会において、囑託司祭として主日を中心に勤務することを委嘱する。(任期1年)
司祭 ヨハネ山根貞夫(退)	2008年4月1日付	司祭ヨハネ奥康功のもとで、尼崎聖ステパノ教会において、囑託司祭として主日を中心に勤務することを委嘱する。
司祭 テモテ名出 望(退)	2008年4月1日付	司祭ヨハネ奥康功のもとで、西宮聖ペテロ教会において、囑託司祭として主日を中心に勤務することを委嘱する。
司祭 ダニエル小池虔二(退)	2008年4月1日付	プール学院非常勤チャプレンの任を解き、司祭ヨハネ鍋島守一のもとで、富田林聖アグネス教会において、囑託司祭として主日を中心に勤務することを委嘱する。
司祭 サムエル坪井克己(退)	2008年4月1日付	聖バルナバ病院チャプレンの任を解き、司祭テモテ内田望のもとで、大阪聖ヨハネ教会において、囑託司祭として主日を中心に勤務することを委嘱する。
司祭 サムエル松岡虔一(退)	2008年4月1日付	司祭ヨシュア原田光雄のもとで、聖ルカ教会において、囑託司祭として主日を中心に勤務することを委嘱する。
主教 ヤコブ宇野 徹(退)	2008年4月1日付	司祭ヨハネ成田邦雄のもとで、聖贖主教会において、囑託司祭として勤務することを委嘱し、社会福祉法人博愛社チャプレンに任命する。

### 神戸

主教 アンデレ中村 豊	2008年3月31日付	下関聖フランシス・ザビエル教会管理牧師ならびに徳島聖テモテ教会管理牧師の任を解く。
	2008年4月1日付	倉敷伝道所管理牧師に任命する。
司祭 ペテロ中原康貴	2008年4月1日付	徳島聖テモテ教会管理牧師に任命する。
司祭 パウロ竹内 宗	2008年3月31日付	倉敷伝道所管理牧師の任を解く。

2008年4月1日付 下関聖フランシス・ザビエル教会管理牧師に任命する。  
 司祭 クレメント信岡章人(退) 2008年4月1日付 司祭ヨハネ芳我秀一管理のもとで、神戸聖ペテロ教会において、囑託司祭として勤務することを委嘱する。(任期1年)

#### 管区

主教 ゼルバベル広田勝一 2008年3月7日付 横浜教区管理主教を委嘱する。  
 主教 アンデレ中村 豊 2008年4月1日付 大阪教区管理主教を委嘱する。  
 総会代議員変更  
 神戸教区信徒代議員 新)アブラハム橋口 満 旧)ヨセフ藤谷正一

#### 《教会・施設》

平塚聖マリヤ教会(横浜) FAX専用回線新設 0463-22-1099  
 聖公会生野センター 住所変更 544-0002 大阪市生野区小路3丁目11-19  
 電話 06-6754-4356(変更なし)  
 FAX 06-6224-7869(3/25より)  
 宗像聖パウロ教会(九州) 住居表示変更 新)811-3406 宗像市稲元6-4-1

## 第52回国連女性の地位委員会およびIAWN会議報告

千松清美(大阪教区)

2008年2月25日～3月7日の期間、ニューヨーク国連本部で開催された第52回国連女性の地位委員会に北海道教区の木村夕子司祭とACC(聖公会中央協議会)の代表団の一員として参加し、同時に開かれたACC主催によるIAWN(国際聖公会女性ネットワーク)の会議にも参加しました(私達の滞在期間は2月21日から3月3日まで)。今年は30カ国から125名の参加があり、この国連女性の地位委員会参加のNGO中では一番大きな団体となりました。

今年のテーマは「男女共同参画の推進と女性のエンパワーメントのための資金調達」です。本会議のまとめとして、国際女性の日(3月8日)の潘基文国連事務総長の言葉を代用します。「各国政府、多国籍機関、二国間支援機関、民間企業などを含む国際社会における私たちすべてが、なかなかなくなる男男女女不平等の経済的コストと、これを救済するのに必要な資

源を計算する必要があり、ジェンダー平等への投資を追求する仕組みを作る必要があります。資源配分を定期的に監視し、報告する必要があります。国際的な支援金はもちろん、国内予算の流れを現実のニーズに合わせ、持続できるようにする必要があります。(略)今年は、2015年のミレニアム開発目標(MDGs)達成予定までの中間点にあたります。世界の女性と女兒に投資しなければ、目的地に到達することはできません。この国際女性の日にあたり、団結して使命を遂行しようではありませんか。」

また、昨年に続き今年も日本政府代表(目黒依子教授)とNGO団体間の面談に出席し、今回のテーマに対し日本政府として国連の基準に答える事の難しさがあること、いくつかの国では「女性問題委員会」や「ジェンダー平等」などの省を政府組織に組み入れ、その大臣格の人が代表で出席し、各国の姿勢の違いを聞きま



した。

ACC代表団の会議では、同じテーマに沿って私たちがどのように自分たちの環境(教会、教区、職場、家庭など)の中で働くかを学びました。例えばAdvocacyについてやACC決議13:31について学び、グループワークののち、各グループがプレゼンテーションするなど、グループディスカッションが多く持たれ、それぞれ代表で来ている団体や管区の問題や個人の悩みを直接聞き考える事が出来ました。特に、同時に開催されていたBeijing Circle Summitの参加者とグループディスカッションをし、Micro Financeのことを聞き、翌日別室であったNGO Artisan Craft Fairで販売されているいくつか

がMicro Financeで事業をしている方々の商品だった事で、その働きを直接目の当たりに出来(実際にいくつか購入)、地元に戻りこの会議参加を伝えるのにととても良い参考になりました。

勉強と英語力の不足のため多くの重要な情報や知識を得ることができなかったことはとても残念ですが、私が受けた貴重な経験と感激を私なりの言葉で身近な方々に伝えていきたいと願っています。

(大阪教区庄内キリスト教会信徒)



## --- 女性デスクから -----

今後に向けて～振り返りと課題

2006年12月から5回にわたって書いてきたこのコラムは今回で一応、一区切りとなります。最後に、次総会期に向けた振り返りと今後の課題についてまとめたいと思います。

総会で女性デスクの設置が決議され、組織として意識的に女性の課題に取り組むことを決めた中で私たちが大事にしようとしたのは、互いに顔の見える関係を作っていきたいということでした。そのために、なるべく女性デスクが団体の総会やグループの集まりなどに直接出向いたり、メーリングリストの設置を行ったりしてきましたが、来期はこれをさらに進めて、女性団体の代表が一堂に会し、課題を共有し協働を進めるための協議会の設置を考えています。

また、今期特に女性デスクが関わったことに「ハラスメント防止モデル案」の策定がありましたが、どんなに良いしくみをつくったところでこの問題が一人一人に意識化されないことには解決は難しいと思います。そのために、今後「ハラスメントを考えるワークショップ」の「出前」の実施や「アサーティブトレーニング」の

紹介、そのためのプログラム教材の開発などにジェンダープロジェクトなどとも協働して取り組みたいと思います。

また今年の早いうちに各教区で防止のための仕組み作りに関わっている方々とも互いのリソースを分け合い、協働に向けての可能性を考える機会を持つようとしています。

この2年間の担うべき課題の中で一番進んでいないように見えるのは、意思決定機関における女性の割合の低さです(管区事務所日より2007年12月号参照)。教会で何かを正式に決める場所に女性の姿が少ない(あるいは、いない)、その理由について整理し直すことから始めなくてはなりません。

今年は女性の司祭按手が実現して10年。組織成立115年のうちの大切にきざまれた時間として10年を感謝すると共に、男性だから、女性だから、ではなく尊厳ある個人として互いを認め、励まし合い、力づけるパートナーシップを築いていくために、信頼と対話の関係を深めていく努力をご一緒にしていきたいと思っています。ありがとうございました。

女性に関する課題の担当者 /  
山野繁子(東京)、木川田道子(大阪)

聖公会 ローマ・カトリック教会 対話開始40周年を祝って / 『マリア キリストにおける恵みと希望』出版記念 「共に捧げる祈りの集い」に際してカンタベリー大主教 ローワン・ウィリアムズ主教から寄せられたメッセージ

長きにわたって続けられてまいりました、私たち聖公会とローマ・カトリック教会の対話へのたゆまぬ努力を皆さんが祝福されるこの機会にご挨拶申し上げますことは、私にとりまして大変な喜びであります。『マリア - キリストにおける恵みと希望』が日本語に訳されましたことは、このたゆまぬ努力の明らかなしるしであり、またさらなる私たちの一致と理解への価値ある貢献であります。神殿でキリストが献げられ、シメオンが御子を腕に抱いて救いを証したときに、マリアは驚きに満たされました。この出来事を私たちが共に思い起こしますときに、マリアと同じように、私たちもまた驚きに満たされることでありましょう。

40年にわたる私たちの国際的対話が、日本聖公会と日本のローマ・カトリック教会が共に歩み証しするこの救いと神の栄光を、より豊かに表すものとなりますよう、祈ります。

2008年2月1日

+ ローワン・カンター

---

Archbishop of Canterbury's Message

Joint Celebration of the Nippon Sei Ko Kai and the Roman Catholic Church in Japan

It gives me great pleasure to send you my greetings as you celebrate our longstanding commitment to Anglican Roman Catholic dialogue. The translation of Mary: Grace and Hope in Christ into Japanese represents a tangible sign of this commitment and a valuable contribution towards our growth together in unity and understanding. As together we recall the Presentation of Christ in the Temple, may we marvel, as did Mary, at the salvation to which Simeon bore witness with her child in his arms.

I pray that our forty years of international dialogue will enable the Nippon Sei Ko Kai and the Roman Catholic Church in Japan to give more eloquent expression to this salvation in their common life and witness, to the glory of God.

+Rowan Cantuar

---